

ステークホルダーとともに

私たちの企業活動は、ステークホルダーの皆さまの理解と支援なしに行うことはできません。ステークホルダーの皆さまとの様々ななかかわりを通じて、さらなる信頼関係の構築を目指しています。

お客さまとともに

研究・開発、製造、物流、販売のすべての段階において、安全と品質の確保に取り組んでいます。お客さまからの声に耳を傾け、技術の向上や品質の改善に努めています。

品質保証体制

工場においては、お客さまに満足いただける優れた品質の製品を安定的に供給するため、品質保証システムの国際規格であるISO9001の認証を取得しています。審査機関による維持・更新審査を重ね、2018年からは2015年版で運用しています。工場においては、マネジメントシステムが適切、有効に運用されているかどうか、年1回、内部品質監査で確認するとともに、工場長が定期的に見直しを行っています。

また、ファインケミカル事業グループにおいては、製造部門とは独立した品質検査部門、品質保証部門を設置し、品質保証体制の充実を図っています。

お客さまとのコミュニケーション

農業事業グループの国内営業担当者は、よりお客さまの要望にあった製品の提案を行うため、JGAP*1指導員の資格を取得しています。

ファインケミカル事業グループにおいては、展示会などに積極的に出展し、当社の製品、技術について、紹介しています。

*1 JGAP (Japan Good Agricultural Practice 日本の良い農業のやり方)：農産物の安全確保などを目的とした農業生産工程管理手法の一つ。



展示会風景

株主・投資家とともに

当社グループでは、適時・適切な情報開示を行うとともに、持続的な成長と企業価値の向上に向け、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話に努めています。

株主総会

当社グループでは、株主総会を株主の皆さまと直接コミュニケーションを図る重要な機会と位置づけています。株主総会においては、事業概況や事業計画、戦略などの説明をビジュアル化しています。また、株主総会招集通知は、早期開示、早期発送を行うとともに、「HOKKO NOW」コーナーを設け、当社グループの1年間の業績や話題・新製品について掲載するなど、情報の充実に努めています。

経営計画・決算説明会

機関投資家・アナリストの皆さまには、3ヵ年経営計画説明会、決算説明会を開催するとともに、平時からのIR取材を通じて、良好な信頼関係の構築を目指しています。

ホームページの充実

当社グループへの理解をより深めてもらうことを目的に、ホームページにおいて、経営方針・戦略、業績・財務情報などのIR情報を適時・適切に開示しています。

また、当社の発祥の経過、農業事業、ファインケミカル事業などについて、イラストや写真を使ってわかりやすくまとめた「簡単にわかるホクコー」サイトを公開(2018年7月)しました。



<https://www.hokkochem.co.jp/iir/>

地域社会とともに

各事業所においては、見学、体験教育の受け入れや、ボランティア活動を通じ、地域の方々と積極的なコミュニケーションを図っています。

見学者・体験教育の受け入れ

事業所では、見学や学生の体験教育・研修を受け入れています。工場では、製品の製造工程や安全衛生および環境保全の取り組みについて説明を行っています。研究所では、農業の開発に必要な様々な効果試験や安全性試験について説明を行っています。



大学生の研修の受け入れ(研究所)



高校生のインターンシップ受け入れ(北海道工場)

地域とのコミュニケーション、社会貢献活動

各事業所においては、野球場などの施設の開放、事業所周辺の清掃活動や地域の廃品回収への協力、地域行事への参加など様々な活動を行っています。

そのほか、工場では、毎年移動献血車が来場し、献血活動に協力しています。研究所では、万一災害が発生した場合、敷地内を避難所として提供する内容の覚書を地元自治会と結んでいます。



清掃活動(新潟工場)



清掃活動(岡山工場)

社員とともに

当社グループが持続的な成長を果たしていくため、新たな分野にチャレンジする人材の育成や社員が活躍できる職場づくりを進めています。

人材育成

自らの頭で考え、新たな分野に果敢にチャレンジする自律した人材の育成を目的に、階層別研修、実務研修、語学学校派遣をはじめとした各種教育制度を導入しています。また、ビジネスに直接・間接的に関連する資格取得(博士号、JGAPなど)や通信研修受講を奨励・助成して、社員のスキルアップをサポートしています。



新入社員研修



管理職研修

ワークライフバランス

ワークライフバランスの実現には、社員が働きやすいと実感できる職場環境づくりが大切だと当社は考えます。育児休業、介護休業はもとより、半日有給休暇、時間単位有給休暇や計画有給休暇などの諸制度を通じて、ワークライフバランスの実現を目指しています。また、働き方の見直しを多方面から進めることで、社員一人ひとりの生産性向上を図り、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得率向上に繋げていきます。

心と身体の健康管理

全事業所において、社員等の心と身体の健康管理を目的に健康診断やストレスチェックを毎年実施し、必要に応じて産業医による健康相談や面接指導を行っています。また、外部の委託業者と連携し、社員等とその家族が健康・医療相談およびメンタルヘルスカウンセリングを受けられる相談窓口を設けるなど、サポート体制の充実を図っています。